



▲町制政施行70周年を記念して実施された第30回町民号

平成22年度決算

～ 減らない収入未済額
(税金等の滞納など)

審査結果

平成22年度一般会計および特別会計の歳入歳出決算書については、関係諸帳簿および証拠書類と照合した結果、決算計数は正確であり、執行は適正なものとして認められました。

【審査のむすび】

当町の財政状況は、東京電力(株)広野火力発電所にかかる固定資産税が年々減少し、財力指数は前年度に比べ、0・112ポイント低下し、平成22年度には普通交付税の交付団体となりました。

さらに、東日本大震災の影響により税収は落ち込み、長引く避難生活において急速に進む医療や介護に対する給付が増大するなど今

後も厳しい財政運営を強いられるため、保健事業や福祉事業等の成果を再検証するとともに、事業の見直しをはかるなど、予防医療・予防介護の充実と拡充に努めて疾病を未然に防ぎ、歳出の削減につながるような施策を積極的に展開されることを強く望みます。